



八中だより

令和元年12月25日 12月号
調布市立第八中学校
校長 佐藤 政彦

HP: <http://www.chofu-schools.jp/chofu8>

よいお年をお迎えください

校長 佐藤 政彦

2019年も残すところわずかとなりました。皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。日頃より、本校の教育活動にご理解、ご協力をいただきまして、誠にありがとうございます。

さて、本校では、これまでいくつもの課題解決に向けて取り組んでまいりました。学校のみだけでは解決に至らないこともあり、保護者・地域の皆様には、何度もお力添えをいただき、支えられ、一步ずつ前進することができました。皆様のお力無しでは、生徒一人一人が輝き、落ち着いた教育環境を作り上げることはできませんでした。ありがとうございました。ぜひ、来年も皆様のお力をお貸しいただき、学校・家庭・地域が一丸となり、生徒の健やかな成長を手助けしていただけることを願っております。どうぞよろしく願いいたします。

◇「いのちと心の教育月間」校長講話より（一部）◇

生命の大切さ、尊さ、かけがえのなさについて、みんなで考える機会として、毎年12月には「いのちと心の教育月間」として、市内の全小・中学校で「命」の大切さを考える講話や道徳授業の公開を行っています。

今、改めて「命」について考えてみると、「命」が大切なことは十分に分かっているのですが、そのことを言葉で表現するのはとても難しいものです。

(中略)

先日、日野市にある『いのちのミュージアム』という所を訪れました。ここには、交通事故などで家族を亡くされた方のメッセージと被害者の等身大の人型パネル、遺品の靴が展示されています。生きたくても生きることができなかった「命」と、遺族の方が命を紡ぐメッセージ展です。(右の詩が掲示されていました) (中略)



あなたの命は、ひとつしかありません。いとおしく、かけがえのないものです。その命を大切に、自ら閉ざすことなく、永遠に守りつづけてください。そして、他の命を脅かすことなく、優しく温かい心を持ってください。明日へ繋がる今日という日を、精一杯力強く生きてください。

「今を生きている君たちへ」

今 君たちは生きている

生きたくても

生きることが出来なかった

君たちの心臓は

だから

ドクンドクンと

生きているって

力強く命を刻む

当たり前じゃないんだよ

昨日があって

君たちは

今日があって

奇跡の命を生きている

明日があって

いとおいしい命を生きている

かけがえのない命を生きている

うれしかったり

今 君たちは生きている

悲しかったり

悔しかったり

生きていればこそその夢をもって

生きていればこそその希望をもって

生きていればこそその日々を重ね

生きていればこそその感情に揺れ

ながら

生きたくても

生きることの出来なかった

今 君たちは生きている

僕らの分まで

精一杯 生きてほしい

でも僕らは

今 君たちは生きている

様々な理由で

ある日突然

命を絶ち切られてしまった

生きていることは すばらしい。

「生きたくても生きることのできなかつた僕らより」

～いのちのミュージアム(日野市百草コミュニティーセンター3F)～